

いろいろな雲を見てみよう！

空にはいろいろな雲が浮かんでいて、雲は、天気や大気の状態を知る手がかりとなります。ぼこぼこした雲、ベタっとした雲、高いところにある雲、低いところにある雲、雨を降らす雲…色々ありますが、高さや形によって10種類に分けられています。そこで、今回は、10種類の雲（10種雲形）をご紹介しますと思います。

10種類の雲を見てみよう！

図1では、10種類の雲の様子を綿を使って表しています。日本気象予報士会関西支部と共催で開催したイベント、お天気講座で作成しました。①～⑩の雲を実際の空で見ると…。図2の写真のような雲になります。

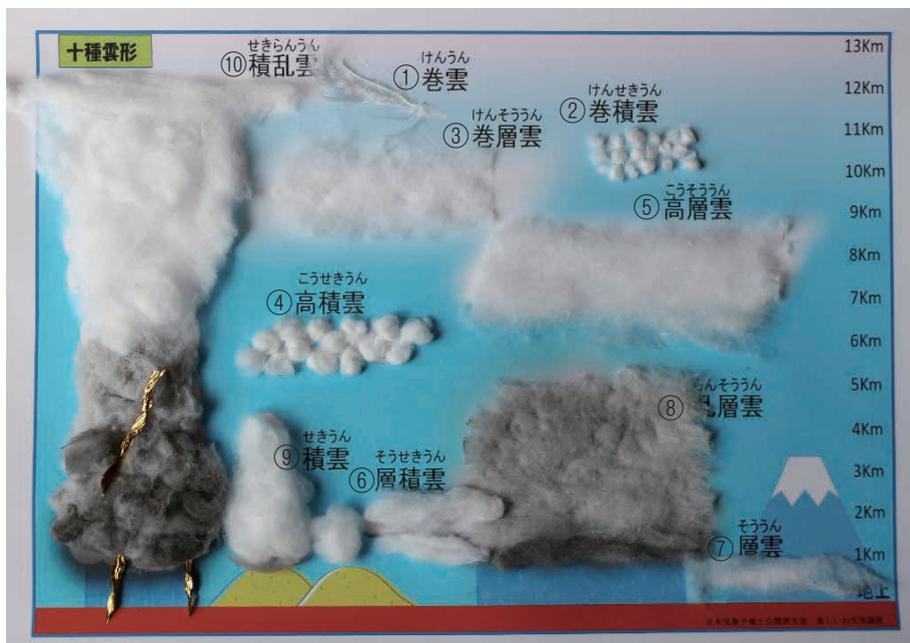


図1. 10種雲形 雲パネル

雲の形には、空気の上昇の仕方が大きく関係しています。①巻雲、②巻積雲、③巻層雲、④高積雲、⑤高層雲、⑥層積雲、⑦層雲、⑧乱層雲は、層状雲といって、比較的安定した大気の層が広い範囲にわたって上昇する場合に発生しやすく、水平方向に広がっています。それに対し、⑨積雲、⑩積乱雲は、対流雲

とって、比較的狭い範囲で強い上昇気流があるときに発生しやすく、もくもくと鉛直方向に発達します。また、大気中に含まれる水蒸気の量や上空の風の強さによっても、雲の形は変わります。10種雲形に分類できないような変わった雲もあるので、ぜひ、いろんな雲を見つけてみてください。もう少し詳しいお話は、またの機会にしたいと思います。



<雲粒の種類>

- ①巻雲②巻積雲③巻層雲
：主に氷の粒
④高積雲⑤高層雲
：主に水滴
⑥層積雲⑦層雲：水滴



- ⑨積雲：主に水滴
⑧乱層雲⑩積乱雲
：水滴と氷の粒
<ワンポイント>
雨を降らす雲は、主に⑧と⑩。⑨⑩は夏によく見られます。

図2. 10種雲形 写真

出典：日本気象予報士会関西支部 お天気講座(撮影：中島保則、木村修治)

西岡 里織(科学館学芸員)